

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第26号 2012年4月15日発行【真田地域に全戸配布】



天満自在天神宮

天神様 傍陽中組に伝わる伝統行事

3月24日午後7時、中組自治会旧公民館に続々と子ども達が集まってきました。少子化が進む世の中ですが、一つの自治会にこれほど子ども達がいることに少し驚きました。

「昔は道の上のほうまで子ども達の列ができるほどだったんですよ」と柳澤邦男さんは言います。柳澤さんは昨年度の自治会長で、今回の中組自治会の伝統行事である「天満自在天神宮」をご紹介いただいた方でもあり、本

通信の通信員でもあります。

菅原道真公を祀った「祠」から中組地区を歩いて回るこの催しは、古く江戸時代から続いているといわれています。

その昔は「獅子」をかぶり、一軒ずつ回るなど一日中にぎやかだったとのこと。支部長の武捨律子さんは「最近では男の子が少なくなつて、獅子が出ることはなくなりました」と教えてくれました。



獅子頭を持つ子ども達。
左から、武捨千波さん・
武捨悠果さん・武捨真璃
奈さん(中3)。尻尾を持っ
ているのは、武捨とうぐ
くん(5歳)

●学問に感謝をするお祭り

中組自治会に古くから行なわれている伝統行事「天神様」は、学問の神様「菅原道真公」を奉り、学問に感謝をする天神奉です。

毎年3月24日、25日に行なわれ、中学生がリーダーシップをとり、小学生や小学生前の小さなお子さんが参加するいわゆる子どものお祭です。

祭りの数日前に、「天満自在天神宮」と書いたお札を作り、全戸配布するところから祭りが始まります。

そして祭り当日、全員で菅原道真公が祀られている祠にお参りをし、手にロウソクを灯した「灯籠」「提灯」を持ち、太鼓を叩きながら自治会内を回ります。

現在は子どもさんも少なくなり寂しい行列になっていますが、以前は鼻に白い化粧や蝶結びの飾りをつけて歌を歌いながら、上級生は獅子頭やだるまを被って祭りを盛り上げました。

●今年で74回目

こうして何年も続いているお祭りですが、いつからこのお祭りが行なわれるようになったのか自治会内の大先輩にお伺いしました。

その方の記憶によりますと、昔も現在と同じように自治会が6地区により形成されており、それぞれの区内に天神様が祀られていましたが、お話をお聞きした方の地区には天神様がなかったため、自分達の地区にも欲しいという声もちあがったとのことでした。

こうした声に自治会が動き、中組自治会としての「天神様」を旧公民館敷地内に建てられたようです。建てられた祠には「昭和13年3月2日」と刻まれていますので、現在のお祭りの体制で今年で74年目になります。

紹介者◎傍陽中組自治会 柳澤邦男

25日朝8時の行列



24日夜の行列



おしゃれな衣類・雑貨とアロマセラピー
パワーストーンのミニセレクトショップ！



営業時間 10:30~18:30(土・日・祝日10:30~18:00 定休日 月曜日)

おしゃれハウス **AYUR**
アユール
上田市真田町本原545-14 電話0268(72)1553(本原医院様とあり)

かり丸くん



真田グッズ

かり
真田雁丸屋

詳しくは

かり丸くん

又は

さくらゆき

で **検索**

(Tel.0268-23-7313)

行ってきました！



今回は、「菅平長寿会スキー部」です

菅平長寿会スキー部は、活動開始から 21 年を迎え、毎週水曜日に 60 代～80 代の皆さんがゲレンデに集まり、スキーを楽しんでいます。

真っ白な新雪と青空、お揃いのオレンジのユニホームが美しい！カラー写真でお見せできないのが残念！

スキー後はお茶会

部員は全員で 30 名ほど、最高齢は 85 歳の部長さんで、平均年齢は 72 歳くらいとのことです。9 時 30 分に集合し、一汗かいた後、お茶会をして 11 時 30 分に終了となります。

現役でホテル業などの仕事をされている方もいたり、天候などによって参加人数は変わりますが、多い時は 23 名ほど参加されるそうです。今回は 20 名参加され、内 4 名は女性でした。

皆で滑る楽しみ

部長さんにお話を伺ったところ、スキーの上達よりも、皆で滑るレクリエーションが主体だそうです。

しかし、皆さんの腕前はインストラクターレベルで、スキー杯「マスターズ」の県大会に出場した方や、80 代から始めてゲレンデを自由自在に滑ることができるようになった方もいるそうです。菅平で生まれ育ち、スキーに慣れ親しんだ方がほとんどですが、関東から菅平に移住してスキー部に参加された方もいます。

斜度 30 度のゲレンデを颯爽と滑走する皆さんの姿はとても若々しく、素敵で格好良かったです。

部員の皆さんの声

- ★菅平に来て 7 年になりますが、スキー部に入りたいと言ったら大歓迎してもらえました。毎回参加しています。
- ★参加すると若返ります。30 代の気分です。スキーは 3 歳から始めて今ではベテランになりました。
- ★皆さんすごく上手で、スキーができないのに入部してどうしようと思いましたが、2 年経ちました。
- ★30 年ぶりにスキーを再開しましたが、体が覚えているので滑ることができます。

取材しての感想

ゲレンデを颯爽と滑る皆さんは、年齢を感じさせない素晴らしい腕前でした。実際にスキー場を見ると、かなりきつい斜度で、気温もマイナス 7～8 度でしたが、それをものともしない部員の皆さんのアグレッシブな姿が印象的でした。真田にはこんなに素晴らしい環境があるのですから、何か運動をしてみたいと思っている皆さん、菅平に行ってスキーを楽しんでみてはいかがでしょうか。

真田地域包括支援センターは、
高齢者の生活を支える総合相談窓口です
☎ 72-8055 有線 2080
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)

徘徊 SOS ネットワーク 模擬訓練 を行いました

最近、認知症高齢者が徘徊中の交通事故や行方不明になるケースが増えています。その原因として、徘徊者の発見や保護に時間がかかることがあげられます。徘徊者の捜索の際には、その方の顔や服装などの特徴を各関係機関に連絡をしますが、家族や近所の顔見知りの人はすぐにわかっても、その他の人は特徴を聞いてもなかなか発見しにくい現実があります。また、徘徊者に似た人を発見しても、その人が捜索願の出ている人かどうか自信がないため、声をかけにくく、夜間になれば発見が遅れ、場合によっては困難になります。

高齢や障害があっても住み慣れた環境（自宅や地域）で住み続けたいと願い、家族や本人が安心して生活していくためには、近隣の理解と協力が不可欠になり、そのための**サポート体制作り**が必要となります。

そこで「ライフステージかりがね」と「高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ」の主催のもと、地域の方々や行政、消防署、警察署にもご参会いただいて 3 月 25 日午前 9 時から、横尾自治会で“徘徊 SOS ネットワーク 模擬訓練”を実施しました。

模擬訓練の内容

- 9 : 00 ~ 認知症サポーター一研修
 10 : 40 ~ 模擬訓練の説明・準備
 11 : 00 ~ 模擬訓練
 (12:00 模擬訓練終了)
 12 : 00 ~ 横尾自治会公民館にて
 「反省会」

講座

はじめに、中沢純一氏を講師に招き、「認知症サポーター養成講座」を開講しました。

認知症の人への基本姿勢対応の心得「3つのない」

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない



具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかける時は一人で
- 後ろから声をかけない
- 相手に視線を合わせてやさしい口調で
- 穏やかにはっきりした滑舌で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

訓練

SOS（模擬訓練）開始！

徘徊役は、アザレアンさなだ男性職員 3 人で、広い横尾自治会の 3 エリアにスタンバイ。地域の方は一度家に帰り、「男性、40 歳の真田雪村さんが行方不明。メガネ、黒っぽいジャケットに G パン着用」との少ない情報のペイジング放送による捜索協力依頼により、訓練を開始。

（時間の経過）

- 10 : 35 SOS 訓練の説明
 10 : 50 地域の方は自宅に帰宅
 11 : 00 ペイジング放送にて捜索協力依頼
 11 : 15 横尾バス停にて一人目確保
 11 : 20 真田運動公園グラウンドにて二人目確保
 11 : 33 かりがね付近で三人目確保

※捜索車両（4 台）からは無線で随時連絡あり。（二人目確保時）
 一人目・三人目確保時は携帯電話からの連絡。



反省会

反省会でのご意見を紹介します。

「情報が少ない中での搜索だった」
 「声をかけることに戸惑った」
 「近所の危険箇所を把握する必要がある」
 「連絡手段やとりまとめる組織づくりが必要」
 「意識改革ができた。突然ならできなかった」
 「一人では、声かけや情報収集が困難」
 「空き家や留守宅の情報は地域の方しかわからない。情報の共有は必要」
 「道具（双眼鏡・懐中電灯）の備え」
 「家族としては、なるべくおおげさにしたくない傾向もある」
 「夕方、夜間、雨天等により搜索方法は違うと思う」
 「何度も訓練をして地域が体制を整える必要がある」
 「初動体勢をしっかりとする」
 「放送は、何度も定期的に流してほしい」



★警察&消防からのお話

「初動体勢が大切」
 「まずは家族から『搜索願』を出してもらうことで、警察→消防搜索→消防団と機能的、大規模に搜索できる」
 「情報集約と整理（指揮系統）のため、搜索本部を設けること」
 「迅速な対応が不可欠。すぐに見つかるケースは少ない（時間とともに危険度が増す）」



まとめ

- ・ 一番大切なのは情報（**情報収集**）→情報管理シートの作成（**家族の協力**）
- ・ 徘徊は庭先から広範囲の自治会内。そして時間とともに広域へ（**初動体制が大切**）。
- ・ 家人の協力のもと警察への**搜索願いが必須**。→警察から消防団へ依頼（家族には大げさにしたくないという想いがある）
- ・ **訓練を繰り返し行う**（夜間・天候により違う）
- ・ 認知症は、**今日・明日は我が家族、我が身に起こること**。
- ・ 認知症になっても**安心して生活できる地域に**したい。
- ・ 介護は独りで長年は頑張れない、**家族の辛さを理解**してほしい。
- ・ **みんなで支えあう**、共生社会。
- ・ 「かりがねもアザレアンさなだも横尾の**地域の一員**」地域の人とこれからも協力したいと願っています。

CAFE & GALLERY
Seam
 ～茶庵～

日替りランチ 600 円《コーヒー付 700 円》数に限りがあります。
 軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもございます。
TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日
 11:00 ～ 17:00 (ラストオーダー16:30)

◇◇求む！こんな物件◇◇
 「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！
 「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…
 カントリーハウス21は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしています。
 ↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ！

COUNTRY HOUSE 21 真田町本原 1967-33(担当:石井)
 いきなりホットライン: 080-5108-9701
 ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>



真田町の頌徳碑をたずねて 第4回◆三井繁作翁頌徳碑（旧傍陽村）

文・若林幸正（通信員 NO.49）

昭和28年夏、三井繁作翁の頌徳碑が、旧傍陽村役場の庭先に建てられている。高さ2m、巾74cmで大きな岩石の上に立ち立派なものである。昭和13年4月15日発行の「傍陽村時報13号」では、自治制発布50周年記念の本村自治功労者として、三井繁作の事績を記載し、その功績をたたえている。

※碑の裏面に刻まれている碑文を要約して三井繁作翁の功績を紹介します。

- 1 三井繁作翁は、安政6年傍陽村甚左工門の長男として生まれる。
- 2 明治13年（26才）区長
 - ・畜産業に着眼し鳴尾牧場を開拓
 - ・傍陽村の養蚕業の基礎を確立
 - ・公有林の設定、区有林の確保、通路の開通などの指導
- 3 明治27年傍陽村、村長に就任
 - ・在職前後を通して20年間村教育の振興と施設の整備
- 4 明治30年 郡会議員に当選。
- 5 明治37年 産業の発展は交通文化の推進として、道路網敷設、電鉄乗入に寝食を忘れて尽力する。
- 6 昭和3年 傍陽駅の開設
- 7 昭和4年 勇退
- 8 昭和8年12月、村長痛恨のうちに長逝す。



< ひとくちメモ >

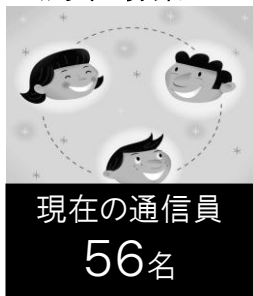
三井繁作翁生誕地：上田市真田町傍陽岡保
 頌徳碑所在地：上田市真田町傍陽萩
 旧傍陽村役場前
 建設年：昭和28年
 写真撮影年月：平成23年12月
 参考文献・傍陽人物誌（上田市図書館所蔵）
 ・三井繁作頌徳碑 碑文より

（撰文並書）

※ 以上碑文に詳しく記されているように政治家として、経世家として、又親分としても色々な方面に努力されている。例えば恋愛問題で、悩んだ若い男女を救ったり、境界争いを仲裁したり、借金で倒産した人を助け新しい道を開いてやったり、事件に対して行くべき方向を正しく判断した為、次から次へと解決していきました。東奔西走席温まる暇もなくその業績は放挙に暇がないほどです。と評価している。

一緒に真田のまちを 再発見しませんか？

身近な情報を
編集部へお寄せくださる
通信員を募集しています！



現在の通信員
56名

御礼

「ニッセイ財団高齢社会先駆的事業～ハイブリット・ケアの展開と新たな地域づくり」として平成21年10月26日から始まった本事業は、平成24年3月31日をもって助成事業を終了しました。皆様方の温かいご支援やご協力のおかげで、この「真田活き活きふるさと通信」も準備号を入れて毎月28回発行をすることができました。本当にありがとうございました。

しかし、「真田活き活きふるさと通信」は終わることなく100号目指して今後も発行して参ります。今まで以上にいろいろなお知らせができるように皆様方から情報をお寄せいただきたいと思います。

なお、今後は偶数月の1日に全戸配布をさせていただきます。従って次回の発行は6月1日となります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

「真田活き活きふるさと通信」編集部一同

編集後記 ●読者の方からご質問をいただきました。ありがとうございます。「通信を読ませていただいております。お尋ねいたします。恥ずかしいのですが読めない漢字があるのです。第24号5ページの頌徳碑のコーナーで、2行目の「確りとした切石」、3行目の「功績は最たっており」の読みを教えてください。」

確り・・・しっかり 最たって・・・さいたって（類似語・・・際立っている）
 このような読み方となります。今後とも、ご意見やご感想をお寄せくださいね。[田中晋]

発行元：「真田 活き活きふるさと通信」編集部 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
 〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
 TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp
 ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2012年6月1日の発行です。